

あぐりめ〜る新川

第91号(令和3年5月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川 農業の未来を担う人 ～第36回～

まつい しょうた
松井 翔大 氏 (魚津市大海寺新)

～ 果樹複合経営体の3代目 ～

松井翔大さん(33)は、農業大学校を卒業後、2年間は果樹種苗会社やぶどう園で栽培技術や経営について学び、平成22年に両親が経営する桃山ぶどう園に親元就農しました。

当農園は県内でも数少ない果樹の複合経営体で、ぶどう 125a の他りんご 60a、銀杏・キウイ 2a を栽培しています。

翔大さんは、果樹を栽培する両親の背中を見て育ちました。ぶどうに取り組むきっかけを「子供の頃、自分が手伝って実ったぶどうをお客さんから『おいしい』と言われたのが嬉しくて」と、和やかに振り返りながら、今では当農園のぶどう責任者として、露地、無加温ハウス、加温ハウスを組み合わせ約 20 品種弱のぶどうの栽培管理をこなしています。

他の品目も含めた販売期間は8月から翌年2月頃までの長期にわたり、直売を通してお客さんとのコミュニケーションを大切にしています。また、近年は、ジャムや干しぶどう等の加工品の開発やホームページでの PR にも取り組み、年間を通じおいしく味わうことができる果樹の魅力を発信しています。



～ 桃山ぶどう園を多くの人に知ってもらいたい ～



就農して11年目となる現在、県内のぶどう生産者と積極的に情報交換し、仕立て方を見学、視察に行くなど、日々おいしいぶどう作りを追求しています。そして、甘さ、コク、香りなど“味”にこだわったぶどうを多くの人に食べてもらいたいと考えています。

また、魚津市内の果樹加工組合、「Vita di frutta」(ヴィータ・ディ・フルッタ：イタリア語でフルーツ生活の意味)の組合員でもあり、魚津全体の果樹を思い販売、PRに力を入れています。

今後も新川地域の果樹をリードしていく若き農業者の一人として、益々の活躍が期待されます。

目次	P. 2～3	登熟を高めるための「根づくり」とカメムシ対策
	P. 4～5	園芸作物栽培のポイント～初夏編～
	P. 6～7	気象変動による農業被害と技術対策について(6～8月)
	P. 8	経営発展を目指すあなたへ 専門家への相談・技術習得支援のご案内

[あぐりめ〜る新川別冊] 農作業安全「リスクカルテ」

登熟を高めるための「根づくり」とカメムシ対策

1 根づくり

高温登熟の影響を軽減し、登熟を高めるためには、溝掘りと中干しを確実に実施し「根づくり」をすることが重要です。これらが不十分だと過剰な生育や根量不足を招き、籾数の過多や稲体活力の低下により、白未熟粒の多発等につながりやすくなります。早めに、溝掘りと中干しの作業計画を立て（図1、表1）、遅れないように必ず適期に実施しましょう。

表1 田植日別の溝掘りと中干しの目安

田植日 (月/日)	溝掘り期間 (月/日)	中干し開始時期 (月/日)
5/10	5/31 ~ 6/7	6/7
5/15	6/5 ~ 6/12	6/12
5/20	6/10 ~ 6/17	6/17

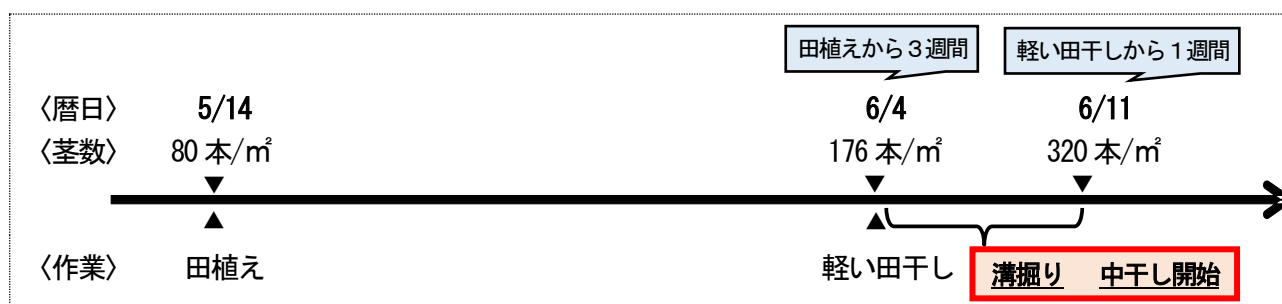


図1 溝掘りと中干し作業のイメージ (H22～R元 生育観測ほ「コシヒカリ」の平均値)

(1) 溝掘りの徹底

溝掘りは、効率的に水管理を行うとともに、ほ場内の均一な生育管理に有効です。また、出穂後20日間の湛水管理やその後の適切な水管理を行った上で、ほ場全体の地耐力を確保し適期に収穫するためにも、溝掘りを確実に実施しましょう。



乗用管理機による溝掘り

乗用管理機による溝掘りのポイント

- ① 田植後3週間頃に2～3日程度、軽く干す。その後、ひたひた水程度まで再入水し、溝を掘る。
(溝掘り直後に落水する。)
- ② 走行速度はほ場が硬い場合は速めに、軟らかい場合はゆっくりとする。
- ③ 枕地で旋回する際は、ハンドルを一定に操作する。
- ④ 水が流れるように溝は必ず連結する。

(2) 中干しは田植後4週間までに実施

6月中旬の梅雨入り前に中干しを開始することが重要です。「田植後4週間までに中干しを実施」しましょう。中干し終了の目安は、ほ場中央部でくるぶしが軽く沈む程度（図2）とします。さらに、中干しとその後の間断かん水で、幼穂形成期頃までに足跡の深さ3cm程度の土壤硬度が得られるよう、土壤条件や天候に応じて調節します。



図2 中干し終了頃のほ場の状態

中干しが適正に実施されると稲の姿の違いに表れ（図3）、根量が多くなることで、稲体活力が高まり、品質・収量の向上につながります。

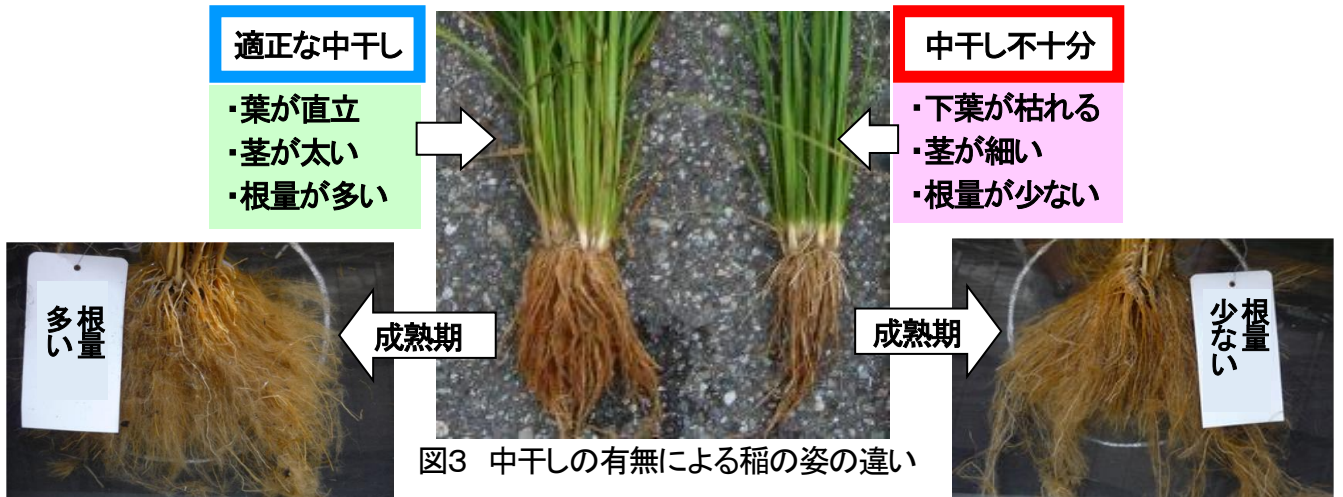


図3 中干しの有無による稲の姿の違い

2 カメムシ対策 ～発生増殖しにくい環境づくり～

新川振興セ管内の令和2年産コシヒカリ（1等比率は93.7%）において、2等以下に格付けされた理由として、カメムシ被害による「部分カメ（斑点米）」が最も多くなっています。1等米比率を高く維持するため、5月からカメムシの発生源となる畦畔や水田周辺の雑草地の草刈りを徹底し（図4）、斑点米の発生を防止しましょう。

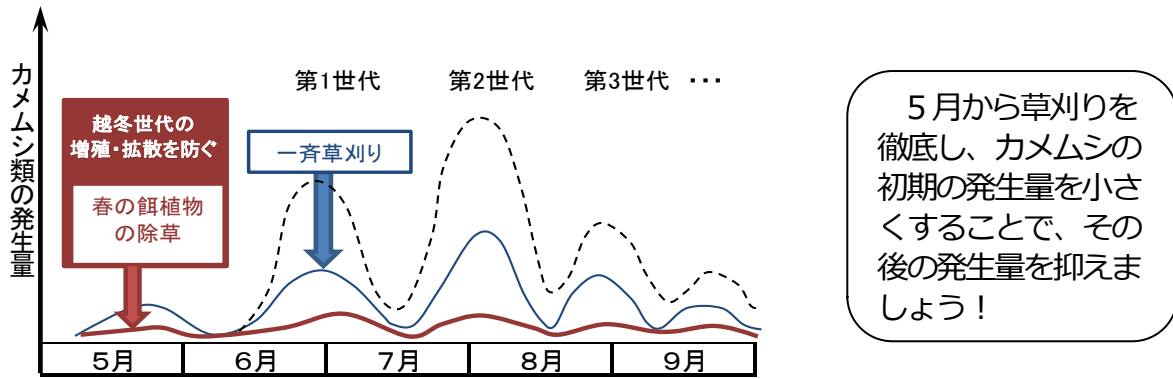


図4 カメムシ類の発生消長（模式図）

参考 新川地域でよくみられる斑点米カメムシ



（左）アカヒゲホソミドリカスミカメ、（中央）アカスジカスミカメ、（右）クモヘリカメムシ

アカヒゲホソミドリカスミカメとアカスジカスミカメは、卵で越冬し、雑草地で世代を繰り返しながら急激に増加します。

クモヘリカメムシは、山間部や林縁等で特に多く確認されている大型の斑点米カメムシです。出穂期以降、越冬成虫及び第1世代成虫がほ場へ侵入して加害します。

園芸作物栽培のポイント ～初夏編～

経営の複合化品目として、あぐりめーる新川89号の別冊「Let's 園芸！」で特集しました園芸作物について、今後、時期ごとに栽培のポイントを紹介していきます。今回は初夏編です。

1 白ねぎ

管内全域で取り組まれている白ねぎ栽培のポイントについて、4回にわたって紹介します。今回は、梅雨入り前から高温期にかけての管理について説明します。

(1) 梅雨入り前の対策

- ・梅雨期に入ると降雨の影響により計画的に作業を実施できないことが多いため、梅雨入り前に削り込みや土寄せを行って下さい。
- ・削り込みでは場を平らにした場合は、条間に溝を設置し、ほ場内に水が停滞しないようにして下さい。ただし、ねぎの葉が埋まると、生育が停滞するので、株元まで土を寄せないようにします(図1)。
- ・土寄せ作業で排水溝が埋まってしまう場合があるので、作業後は必ず手直しして下さい。

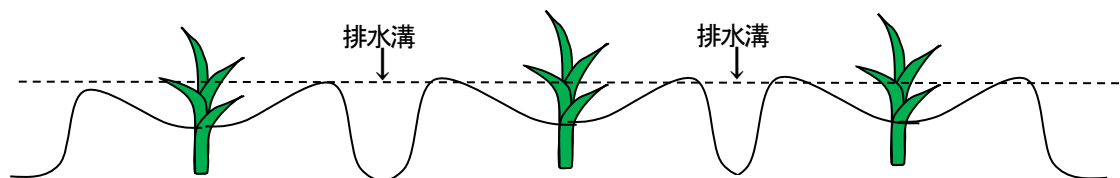


図1 梅雨前の排水溝の設置

(2) 梅雨明け後の土寄せ

- ・盤茎部の地温上昇を抑えるため、梅雨明け直後に土寄せを行います。その後、原則9月上旬まで土寄せしないで下さい。
- ・葉が土に埋まると生葉数が減少し、肥大が抑制されるので、1～3回目の土寄せ量は葉が4～5枚残る程度とし、株元まで寄せすぎないように注意して下さい(図2)。

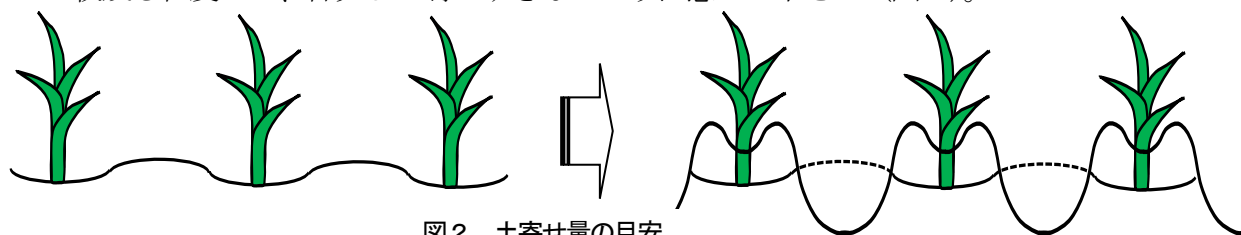


図2 土寄せ量の目安

(3) 病虫害対策

- ・削り込みや土寄せ時には、アザミウマ類等の害虫対策として、殺虫剤(スタークル粒剤やダントツ粒剤等)を散布して下さい。
- ・6～7月の土寄せ時には軟腐病予防のため、オリゼメート粒剤を散布して下さい。

(4) 雑草対策

- ・基本対策として、削り込み後にロロックス、1回目と2回目の土寄せ後にトレファノサイド乳剤(又はトレファノサイド粒剤2.5)を散布して下さい。
- ・うね間に雑草の発生が見られた場合、雑草が小さいうちに、プリグロックスLをねぎにかからないように散布して下さい。
- ・生育期にイネ科雑草が発生した場合は、セレクト乳剤を全面散布して下さい。

2 ボックスぶどう（水稲育苗ハウス利用の根域制限栽培）

ぶどう栽培は、房づくり（花穂整形）、無核化や果粒肥大促進を目的とした植物成長調整剤処理、摘房、摘粒、袋掛け等、開花直前から結実までの短期間で作業が集中します。

今回は、育苗箱の搬出後からの短期間で適期作業を行うポイントについて説明します。

(1) 省力化のポイント

1) 花穂整形

開花1週間前から開花始めまでに不要な花蕾を除去します(図3)。花穂整形器(写真1)を利用することで省力化を図ることができます。

2) 植物成長調整剤処理

「巨峰」や「ピオーネ」、「藤稔」等の巨峰系4倍体品種では、満開3～5日後にジベレリン処理を行うことで、処理回数を通常の2回から1回に減らすことができます。

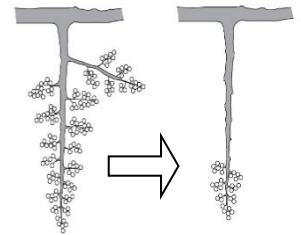


図3 房づくり(花穂整形)
先端3～4cmを残す



写真1 花穂整形器

(2) ハウス管理のポイント

1) 温度管理

ハウス内は高温になりやすいため、ハウス側面のビニール巻き上げ、妻面のビニール戸等の開放、遮熱シートの設置等により温度上昇を抑制します。

2) 水分管理

かん水装置を利用し、1日に3～4回かん水を行います。

3 花束加工用小ギク

小ギクの管理作業は、定植(4月)後から収穫(7～8月)まで続きます。

(1) 摘心と整枝のポイント

1) 摘心

定植 10～14 日後に定植苗を軽く引っ張って活着を確認し、展開葉が5枚以上残るように、頂芽部を摘み取ります(写真2, 3)。

2) 整枝

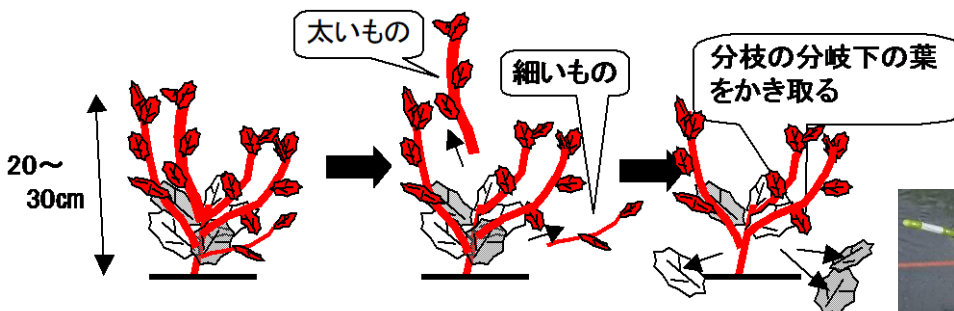
摘心 20～30 日後(6月上旬頃)に側枝が 20～30 cmに伸びてきたら、先端の太い側枝や下枝の細い側枝を取り除き、太さの揃った脇枝を3～4本にし、分枝下の葉をかき取ります。



写真2 摘心直後の姿



写真3 側枝の出始め



(2) ほ場管理のポイント

1) かん水

定植後は1か月程度たっぷりとかん水し活着を促し、活着後は極端な乾湿を避け適度な土壤水分を保ちましょう。土壤水分が目でわかる資材を活用すると便利です(写真4)。

2) フラワーネット上げ

草丈 30 cm程度になった頃からネットの高さが常に草丈の7分目になるように随時ネットをあげていきましょう(写真5)。



写真4 土壤水分がわかる
資材(右)と設置例(上)



写真5 引き上げられたフラ
ワーネット



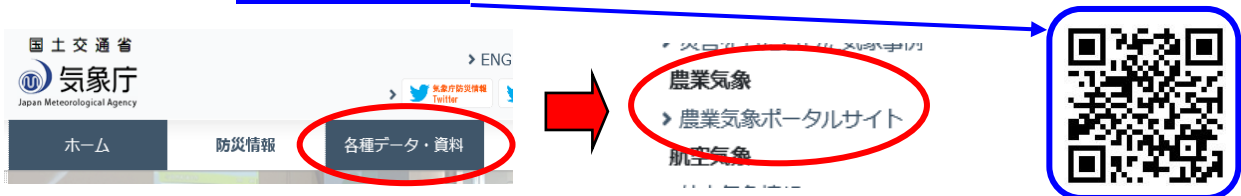
気象変動による農業被害と技術対策について（6～8月）

多くの農作物の生育期間である6～8月は、「高温・少雨」「日照不足・集中豪雨」などの気象変動による農業被害が懸念されます。特に水稻では、登熟期の高温による品質低下や収穫直前の大雨による倒伏などの恐れがあります。このため気象災害に備え、日頃から気象情報をチェックするようにしましょう。

1 気象庁が提供する情報について

(1) 農業気象ポータルサイト

気象庁のHPにある「農業気象ポータルサイト」は農業分野に役立つ気象情報をまとめたサイトで、「気象庁HP」/「各種データ・資料」/「農業気象」「農業気象ポータルサイト」で閲覧できます。また、右下のQRコードでクイックアクセスできます。

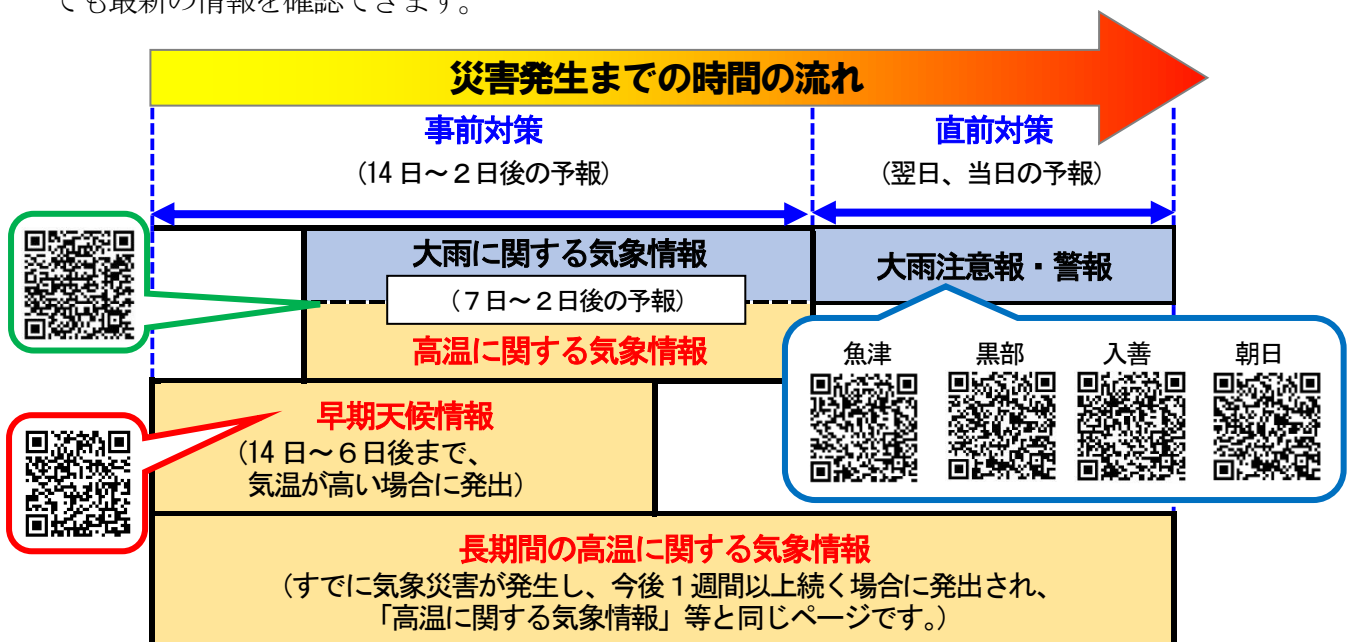


「農業気象ポータルサイト」では「高温」「降雨」等の項目ごとに、過去の気象データや3か月先までの予報などがまとめられています（右図）。



(2) 「降雨（大雨）」・「高温」情報

6～8月は、特に「降雨（大雨）」「高温」に注意してください。2週間気温予報(毎日発表)のほか、警報や注意報に先立って注意を呼びかける気象情報等（QRコードでクイックアクセス）でも最新の情報を確認できます。



(3) 降雨・気温に関する気象用語

①降雨

小雨：数時間降っても雨量が1mm ない雨。

大雨：土砂災害や浸水害が発生する危険がある雨。

②気温

「**平年より高い**」、「**かなり高い**」

過去30年間の同じ期間の気温の、上位33%の範囲にあれば「平年より高い」、上位10%で「かなりの高い」と表現されます。

表 降雨に関する用語と実際の雨量

用語	1時間当たり雨量
やや強い雨	10mm 以上 20mm 未満
強い雨	20mm 以上 30mm 未満
激しい雨	30mm 以上 50mm 未満
非常に激しい雨	50mm 以上 80mm 未満
猛烈な雨	80mm 以上

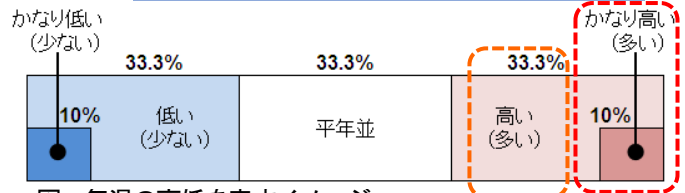


図 気温の高低を表すイメージ

2 気象変動に対応した技術対策（6～8月）

農業被害を防止・軽減するため、以下の対策を実施しましょう。

(1) 大雨の対策

水稻：冠水時には速やかに排水し、白葉枯病等の発生に留意し的確な防除を行います。

大豆：ほ場の停滞水は出芽不良や生育遅延等をまねくので、あらかじめほ場の排水溝を設置・手直しし、降雨以降の速やかな排水に努めます。作物体が軟弱化するので病害虫防除を行います。

露地野菜：夏秋期における異常な長雨・低温・寡照は生育・着果不良等となりやすく、病害が多発しやすいので、排水対策や病害防除対策を徹底します。

花き：低温・多湿で病害の発生が助長されますので排水対策を行い、状況に応じては薬剤散布を実施します。

果樹：排水対策を行い、長雨時の病害の発生に十分注意し、防除を徹底します。

(2) 高温・少雨の対策

水稻：生育前半の高温の影響で、過剰分けつや籾数過多による品質低下が懸念されますので、適期の中干しに努めます。また、登熟期の高温での稲体の活力低下を防ぐため、以下の点に留意してください。

① 葉色を見ながら生育診断を必ず行い、適期に適量の穂肥を施肥する

② 出穂後の湛水管理、収穫前の早期落水防止等の水管理を徹底する

大豆：開花期以降は、土壌の乾き具合に応じて朝夕の涼しい時間帯に畦間灌水を行い、莢数確保に努めます。また、灌水後は、すみやかな排水に努めて下さい。

露地野菜：キャベツなどの葉茎菜類は、乾燥によるチップバーン発生を防止するため、薬剤防除時に水溶性カルシウム剤を混用します。ねぎは、軟腐病の発生につながるため、土寄せ管理や追肥は行わないでください。

花き：旧盆切花は早朝・夕方のかん水により、早期開花を防止し草丈の確保を図ります。

果樹：梅雨明け後に高温乾燥状態が続く場合は5～7日間隔で灌水を行い、日焼け果や葉焼けの発生を防ぎます。収穫は過熟とならないよう適期に行います。

園芸作物共通：降雨が少ない日が続くと害虫が多発するので発生を確認次第防除します。収穫はなるべく涼しい時間帯に行ってください。

施設栽培：日中、異常高温にならないよう遮光や換気を行います。

※本文は、農林水産省「農業技術の基本指針（令和2年改定）」、新潟地方気象台「農業に役立つ気象情報の利用の手引き（北陸地方版）」（令和2年1月）をもとに新川農林振興センターが作成

～経営発展を目指すあなたへ～ 専門家への相談・技術習得支援のご案内

今後の経営展開を検討する中で、「法人化や6次産業化等の新しいことに挑戦したい」、「自身並びに従業員の技術習得を図りたい」との考えになることはありませんか？

今回は、更なる経営発展を目指すあなたにおすすめの2つの事業を紹介します。

1 農業経営者サポート事業

法人化、経営継承、経営改善計画の目標達成、従業員雇用、労働環境の改善等の経営課題について、派遣された専門家に相談しアドバイスを受けることができます。

(専門家への謝金等の支払いは必要ありません。)

(1) 専門家の種類

税理士、社会保険労務士、司法書士、中小企業診断士、デザイナー等

(2) センター管内で専門家相談を活用した事例

課題	派遣された専門家
法人化とそれに伴う労務の適正化	税理士、社会保険労務士
新品目導入、地域の加工組織との連携	農業経営アドバイザー
労働環境の点検、整備	労働安全コンサルタント

これらに限らず、経営発展につながる相談が対象となりますので、経営課題の解決に向け、是非ご活用下さい。

2 青年農業者育成基金事業

概ね45歳未満の青年農業者に対して、資格取得や自主的な研修参加・開催等を支援します。

助成対象例	助成額
・大型特殊自動車免許の取得 ・フォークリフト運転技能講習の受講 ・ドローン免許の取得 ・けん引免許の取得 ・食品衛生責任者講習の受講	5万円と事業費の1/2の内、いずれか低い額 ※ドローン免許については1経営体につき1名まで
・自主企画の研修会・先進地視察等 ・首都圏等のマルシェや商談会への出展	5万円と①と②の合計の内、いずれか低い額 ①青年農業者本人の旅費・宿泊費の1/2 ②参加費、負担金および研修開催費の9/10
・新技術の検証に係る実証ほの設置 ・経営管理用パソコンソフトの導入	10万円と事業費の1/2の内、いずれか低い額

※青年農業者個人に対する助成です。

※詳細な要件等については研修会等の申し込み前に予め当センターへお問い合わせください。

※尚、今年度に活用を要望される場合は6月15日(火)までに当センターへご連絡下さい。

令和3年5月21日、富山市婦中町東本郷に「**スマート農業普及センター**」(旧農業機械研修センター)がオープンしました。

従来のトラクタ等の講習・試験コースに加え、スマート農機の体験エリアや、トラクタやドローンの操作シミュレータを備えた研修室が新設されました。

今後、スマート農業を担う人材と指導者を育成する拠点施設として、スマート農機研修などに活用されます。